



冬！ 温泉、加湿器・・・レジオネラ症に気を付けて。

寒い冬。温かいお風呂が何よりの季節となりました。
休みの日には温泉旅行を計画している方もおられることでしょう。
また、乾燥した空気への対策として加湿器を使っておられる方も多いのではないのでしょうか。
こうした中、**レジオネラ症（レジオネラによる感染症）の報告が増えてきています。**



レジオネラ属菌とは。

レジオネラ属菌は、土の中や河川、湖沼など自然界に生息しています。アメーバなどの原生動物に寄生し、20℃から比較的高温（～50℃）でも増殖します。我々の身の回りにある**加湿器**からも検出されることがあります。

レジオネラ症での死亡者が発生しています。

レジオネラ症は、レジオネラ属菌が原因でおこる感染症です。
急激に重症になって、**死亡する場合もあるレジオネラ肺炎と、**
数日で自然に治る場合が多い**ポンティアック熱**に分けられます。
レジオネラの感染から発病までの潜伏期間は約1～10日間で、
38℃以上の高熱と悪寒・全身倦怠感に続いて咳・胸痛・呼吸困難
が出現します。

咳は、最初のうち痰を伴わない乾性ですが、1～2日後には
70%近くの患者さんで**膿性ないしオレンジ色の痰**を伴うようになります。
レジオネラ肺炎は、乳幼児や高齢者、病人など**抵抗力が低下している人や、**
健康人でも**疲労などで体力が落ちている人**などが発病しやすいといわれています。
エアロゾルが感染源です。

レジオネラ症は、レジオネラ属菌に汚染された目に見えないほど
細かい水滴（エアロゾル）を吸い込むことで感染します。
ヒトからヒトへ感染することは少ないです。

加湿器ではエアロゾルが発生するので、菌の発生を防がなければなりません。

レジオネラ症

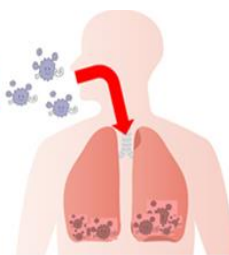
レジオネラ肺炎

- 主な症状
 - ・高熱、呼吸困難
 - ・筋肉痛、吐き気
 - ・下痢、意識障害
- 特徴
 - ・急激に重症になり、死亡することもある。

ポンティアック熱

- 主な症状
 - ・発熱
 - ・悪寒
 - ・筋肉痛
- 特徴
 - ・一般に軽症で数日で癒えることが多い。

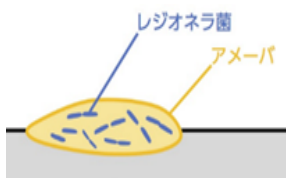
レジオネラ属菌を含んだ
エアロゾルやミストの吸入



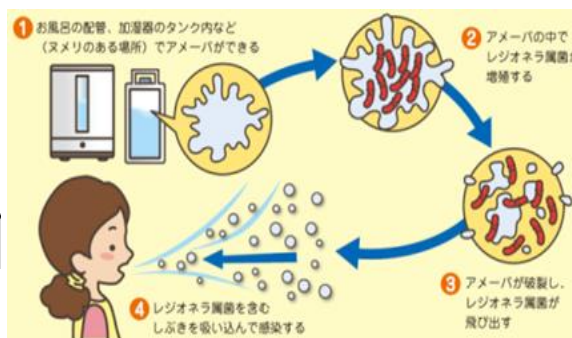
レジオネラ症発生の原因となる可能性が高い加湿器の種類

▲超音波式 ▲回転霧化 ▲遠心噴霧方式

特に家庭用の超音波式加湿器は、
以下の理由から生物膜（ぬめり）が
発生・付着しやすいため、
危険性が高いと考えられます。



- 水タンク内が汚れやすい。
- 長期間水を貯めたまま放置されることがある。
- 水タンク内面に形成される生物膜が長時間保持される。



管理のポイントは

水タンクの内面を定期的に洗浄して清潔にしておく。
長期間使用しない場合は、
水タンク内の水を捨て、きれいに洗浄しておく。
加湿器の水はこまめに交換する。

